

The 4th Annual Meeting of the Japan Amyloidosis Research Society

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/46126

『学会開催報告』

第4回日本アミロイドーシス
研究会学術集会The 4th Annual Meeting of the Japan
Amyloidosis Research Society金沢大学大学医薬保健研究域医学系 脳老化・神経病態学
(神経内科学)

山田正仁

平成28年(2016年)8月19日(金)にKKRホテル東京において、第4回日本アミロイドーシス研究会学術集会を開催いたしました。石川県、金沢市および金沢大学十全医学会にご後援いただき、一般参加および招待者を併せて163名の参加を得て、盛会裏に学術集会を終えることができました。

現在、脳神経疾患(認知症・神経変性疾患、脳血管障害、末梢神経障害)、心疾患、消化器疾患、腎疾患など、様々な専門領域でアミロイドーシスあるいはアミロイド関連疾患の診療や研究は重要な課題になっています。しかし、分野の異なる医師や研究者が集まってアミロイドやアミロイドーシスについて議論する機会はほとんどありません。本研究会は、基礎・臨床、診療科の垣根を越え、アミロイドやアミロイドーシスの診療・研究に従事する人たちが一同に会することができるわが国唯一のフォーラムとなっています。

今回の学術集会では、「アミロイドーシスの分子機構と新規治療への展望」をメインテーマとし、アミロイドーシスの病態解明や治療法開発に関連した教育講演、シンポジウムおよび英語によるSpecial Symposiumを開催いたしました。

アミロイドーシスおよびアミロイド関連疾患の克服に向けた研究および診療の進歩は著しく、一部の遺伝性アミロイドーシスでは治療法開発に伴う新たな合併症の出現が問題となっています。Special Symposiumでは「Central nervous system involvement in patients with ATTR amyloidosis」をテーマに、熊本大学の山下太郎先生とポルトガルのCentro Hospitalar do PortoのLuís F. Maia先生に、ATTRアミロイドーシスにおける中枢神経系の合併症についてご講演いただきました。

かつては治療のない不治の病であったアミロイドーシスおよびアミロイド関連疾患について、抗アミロイド効果を有する疾患修飾薬を臨床の現場で使用することが可能となっています。シンポジウム1で「アミロイドーシスの分子機構」をテーマとし、アミロイドーシスおよびアミロイド関連疾患の各病型における分子メカニズムに関する最新の知見が報告されました。シンポジウム2では「アミロイドゲネシスを標的とした治療法開発」の主題で、アミロイドβ蛋白、トランスサイレチン、プリオン蛋白といったアミロイドーシスやアミロイド関連疾患について、アミロイドの分解や凝集阻害を標的とした治

療法開発の現状と今後の展望が報告されました。各シンポジウムでは参加者との活発な討論が行われました。

教育講演では、アミロイドーシスやアミロイド関連疾患について経験の浅い臨床医を対象に、これらの疾患の理解を深めていただくことを目的として、「アミロイドーシスを疑う、診断する」および「ALアミロイドーシスの診断と治療」との演題名でわが国におけるアミロイドーシスのスペシャリストの先生方に総論的なご講演をいただきました。

一般演題と研究奨励賞には46演題を応募いただきました(うち研究奨励賞は22演題)。日本アミロイドーシス研究会学術集会での初めての取り組みといたしまして、一般演題と研究奨励賞応募演題に関しては口演での発表は全て取りやめ、ポスターによる発表のみとしました。ポスター発表では、演者による個別のプレゼンテーションは行わないこととしましたが、「ALアミロイドーシス」、「ATTRアミロイドーシス」、「AAアミロイドーシス」、「脳アミロイドーシス」、「透析・その他のアミロイドーシス」および「実験的アミロイドーシス」の各カテゴリーで2名ずつのコメンテーターをお願いし、ポスタービューイングとポスターディスカッションの時間帯で、演者および参加者とじっくり議論していただくこととしました。議論が盛り上がるか心配しましたが、コメンテーターの先生方のおかげでポスターの前では大変活発な議論が行われ、演者や参加者より好意的なご意見をいただくことができました。また、幹事の投票を元に4演題を選出し、研究奨励賞として表彰させていただきました。

本学術集会の開催にあたっては、金沢大学十全医学会のご後援、関係各位のご支援をいただきました。心より感謝いたします。

